

課題番号： 1 1

テーマ名称：都市部における交通渋滞の緩和

1. 主な対象国・地域	アフリカ大陸の全 54 カ国を対象とする。 なお、以下の国では当該分野の JICA 協力を実施中であり、下記 4. 以降の記載はこれらの国を例として具体的な課題等を記載しているが、類似の課題を有する他の国での提案も勧奨する。 ナイジェリア、コートジボワール、ケニア、タンザニア
2. 分野	都市課題・経済回廊（インフラを含む）
3. 関係する SDGs ターゲット	11.1 2030 年までに、すべての人々の、適切、安全かつ安価な住宅および基本的サービスへのアクセスを確保し、スラムを改善する。11.2 2030 年までに、脆弱な立場にある人々、女性、子ども、障害者、および高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、すべての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。 11.3 2030 年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、すべての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。 9.4 2030 年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術および環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。すべての国々は各国の能力に応じた取り組みを行う。 9.5 アフリカ諸国、後発開発途上国、内陸開発途上国および小島嶼開発途上国への金融・テクノロジー・技術的支援の強化を通じて、開発途上国における持続可能かつレジリエントなインフラ開発を促進させる。
4. 対象国・地域の当該分野の一般的な現状	現在、都市人口は世界人口の 50% を占めており、2030 年には 60%、2040 年には 70% に達するとされている。また、アフリカの都市人口は 4.7 億人から 2040 年には 10 億人に急増見込みであり、「メガシティ（1000 万人超）」も 3 都市から 6 都市となる見通しである。他方、都市への人口一極集中による基礎インフラ・公共サービス（交通、上下水道・廃棄物管理、電力等）の不足、環境の悪化、インフ

	<p>オーマルセクターの増加等、居住環境面の課題は多い。JICA はこれまで主にアフリカの首都における都市開発マスタープラン、都市交通マスタープラン、地形図作成等の支援を行い、持続可能な都市の実現に貢献してきている。しかしながら、急速に増大する都市人口に対応するためには都市計画によるアプローチだけでなく、インフラ整備や民間技術を活用した都市管理、都市経営が重要となってきた。</p>
<p>5. 解決すべき課題</p>	<p>急速な都市化に伴う公共インフラ（交通インフラ、電気、上下水道等）の整備が追いつかず、慢性的な交通渋滞や非衛生的な現象が発生し、社会・経済活動の支障となっている。</p>
<p>6. 上記をとりまく状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ナイジェリア：ラゴスは近年中に 1000 万人を超える都市に成長する見通し、1976 年に遷都したアブジャも 10%近い人口増を経験しており、両都市とも交通渋滞は悪化の一途をたどっている。 ●コートジボワール：首都アビジャンにおけるピーク時の交通渋滞は道路ネットワーク上の至る所で見受けられ、これらに歯止めのかからない状況となっている。路面状態の悪さ、ミッシングリンク、道路容量の不足などが原因として挙げられ、利用者の公共交通への信頼も低いとされる。 ●ケニア：ナイロビ市は人口 300 万人を超える都市で、慢性的な交通渋滞に悩まされ続けており、抜本的な改善を求め公共交通システムの導入も検討されている。一方、特に旧市街の道路拡幅や、工事用地の取得などは容易ではなく、都心交通インフラの実現と渋滞緩和には画期的なソリューションが必要である。 ●タンザニア：ダルエスサラーム市の人口増加は著しく、2030 年ごろには 1000 万人に達すると予測される一方、経済発展に伴う高層ビルの建設も続いており、今後も市内の交通流動が著しく変化、交通渋滞の更なる悪化が予見される。
<p>7. 活用が想定される技術・製品・ビジネスモデル</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●既存の各国マスタープラン等で提示されている交通課題（以下例示）に対し、広く民間技術、ノウハウの活用を想定。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 急速な都市化と交通需要の急増に伴う慢性的交通渋滞、それによる社会・経済活動への悪影響の発生 ➢ 同交通渋滞による、大気汚染等の環境問題の発生 ➢ 幹線道路のメンテナンス不良による上記問題が悪化する悪循環 ●特に交通渋滞発生・集中に関するより安価かつ効率的な情報の提供（将来的に交通管制を代替するようなシステム）

	<p>●アフリカの各都市の安全性の向上（安価かつ持続的な電力供給を利用した街灯等）、効率的なリアルタイム交通情報の把握、交通情報の提供に関する技術等。携帯電話やスマートフォンを利用した都市生活の質の向上に資するアプリや技術開発等。</p>
<p>8. 主要関連政府機関・ステークホルダー</p>	<p>各国の交通・インフラ省、都市化の進む自治体（上記都市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ナイジェリア国 ラゴス市、アブジャ市、連邦首都開発局（Federal Capital Development Authority : FCDA）、連邦交通省 ●コートジボワール国、 運輸省、アビジャン市、 ●ケニア国 ナイロビ郡庁、交通・インフラ省（MOTI） ●タンザニア国 ダルエスサラーム市、首相府地方自治庁、公共事業省、運輸省
<p>9. 当該国・課題に対する日本政府・JICA の方針・戦略、関係する ODA 事業、他ドナー情報</p>	<p>対ケニア国 国別援助方針 対タンザニア国 国別援助方針 対コートジボワール国 国別援助方針 対ナイジェリア国 国別援助方針</p> <p>https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/region/africa/index.html</p> <p>ケニア国ナイロビ市都市マスタープラン、都心交通マスタープラン https://www.jica.go.jp/oda/project/1100511/index.html</p> <p>タンザニア国ダルエスサラーム都市交通マスタープラン http://open_jicareport.jica.go.jp/710/710/710_416_12249439.html https://www.jica.go.jp/oda/project/1502328/index.html</p> <p>コートジボワール国アビジャン都市マスタープラン http://open_jicareport.jica.go.jp/pdf/12230587.pdf</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JICA 開発途上国課題発信セミナー（国土開発・防災）資料 https://www.jica.go.jp/priv_partner/information/2018/ku57pq00002aw02r-att/ku57pq00002bddzq.pdf ・ SDG ポジションペーパー ゴール 9 https://www.jica.go.jp/aboutoda/sdgs/ku57pq00002e2b2a-att/goal09_j.pdf ・ SDG ポジションペーパー ゴール 11 https://www.jica.go.jp/aboutoda/sdgs/ku57pq00002e2b2a-att/goal11_j.pdf
<p>10. 留意点・リスク</p>	

11. 参考情報	
----------	--

※科学技術イノベーション（STI）を含む新しい技術の活用の積極的な提案を期待しています。

【STI（Science, Technology and Innovation）】

科学的な発見や発明等による新たな知識を基にした知的・文化的価値の創造と、それらの知識を発展させて経済的、社会的・公共的価値の創造に結びつける革新。アフリカでは、モバイル技術等を活用した革新的なサービスも急速に普及してきており、課題解決及びSDGs達成のツールとしてSTIの活用が期待されています。革新的な技術により、これまで開発の成果が届かなかった人、場所に開発の成果を届けることができたり、革新的な効率化や質の向上を図り、時間的、費用的にコストを大幅に引き下げるなどの効果が見込まれます。